

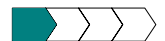
中国・温暖化・国際協力

-超長期ビジョン策定/合意形成/実現のための課題-

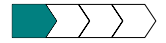
内容

1. 中国の過去と未来
2. 温暖化問題での長期目標設定
3. 地球/地域環境ガバナンス
4. まとめ

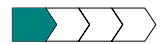
超長期ビジョン検討会 2006年10月6日 東北大学 東北アジア研究センター 明日香壽川



1. 中国の過去と未来

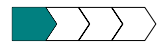


「インド（中国）がイギリス（アメリカ）のように“豊か”になったら、地球が5つか6つ・・・」



47年前の中国

毛沢東主導の大躍進政策（1959年～1960年）によって、数年間で約2千万人が餓死（その後の文革でも数百万人死亡）

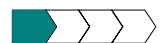


ベクトルの方向（1）

貧困の平
等な分配



- 刹那主義
- 開発至上主義
- 市場主義
- 差別主義
- 政府と市場の両方の失敗
- 非合理的（？）



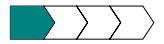
ベクトルの方向（2）

合理的

非合理的（？）

- 一人っ子政策
- 戸籍政策（農民隔離政策）



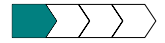




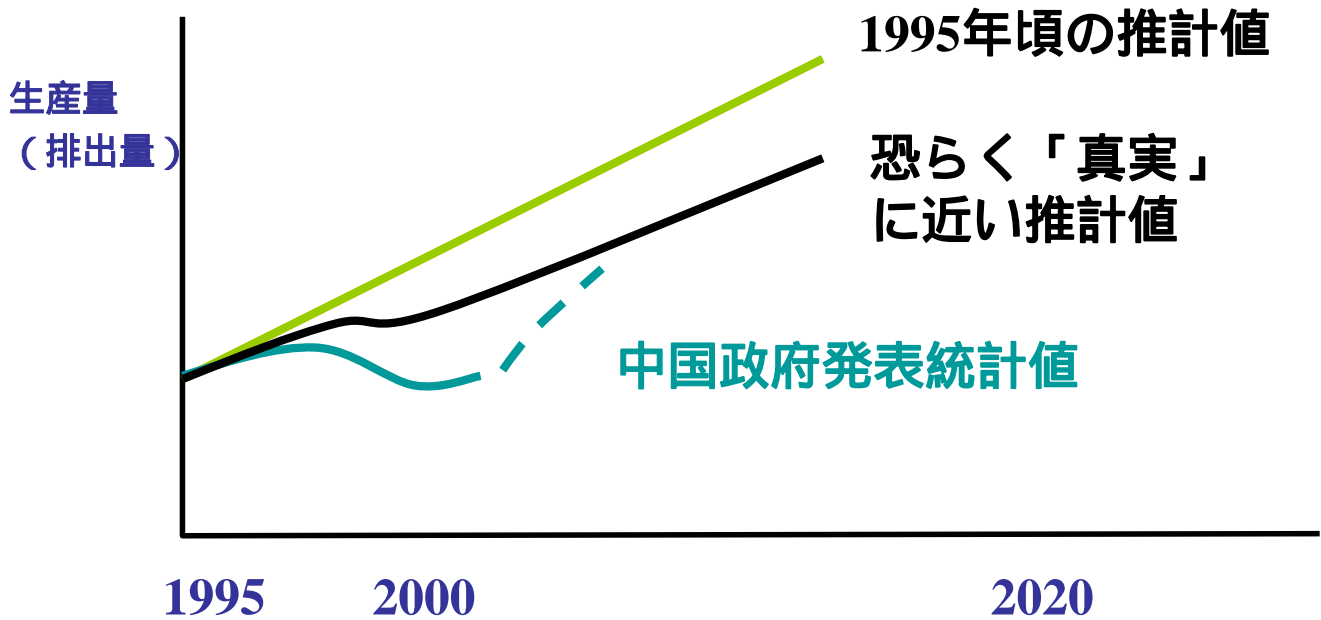
1. 中国の過去と未来

20年後の中国

1. 都市と農村の二重構造および石炭依存構造の継続
2. 脱硫率などは向上しつつも、汚染物質排出量は増大
3. 共産党体制の崩壊は、恐らくエネルギー・環境という側面からはマイナス（被害者/NGO活動の活発化や需要減少という意味では長期的にはプラス？）
4. 原子力発電に伴うリスクの拡大



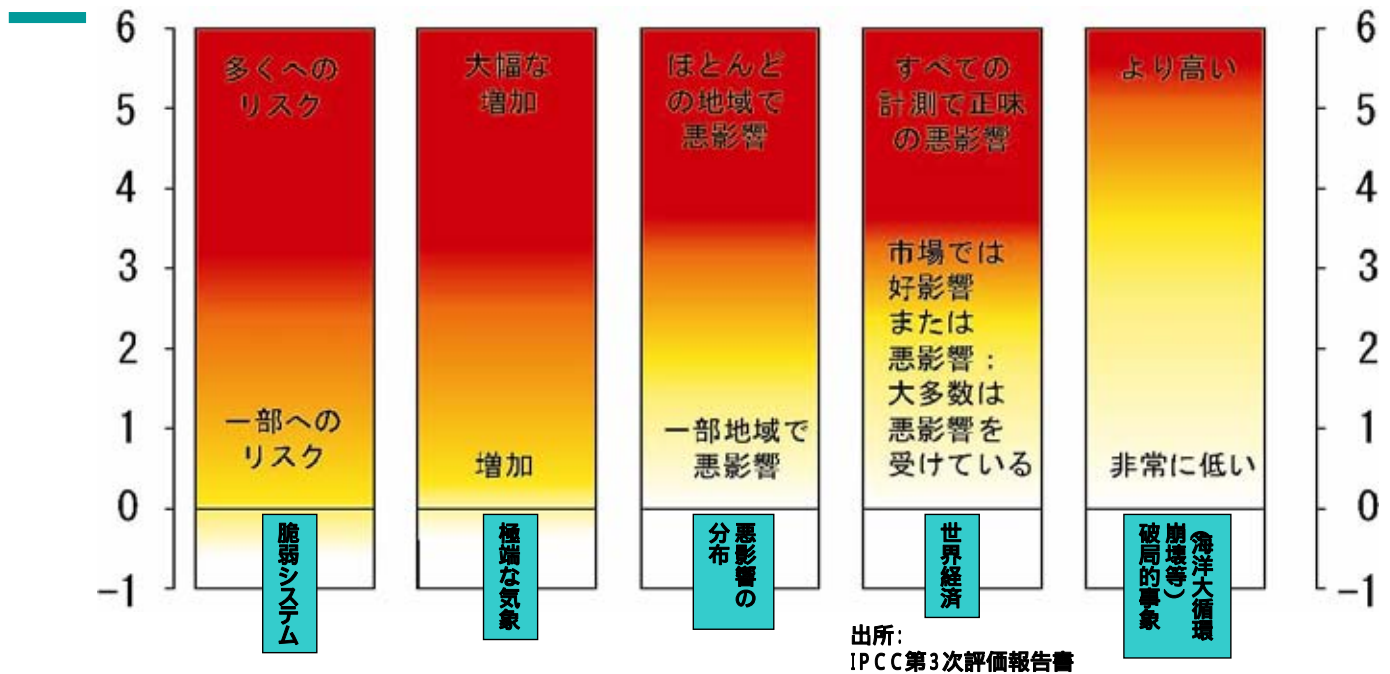
中国石炭/SO₂/CO₂統計データ問題



2. 温暖化問題での長期目標設定



気候変動のリスク評価：2 安定化 目標設定の蓋然性



長期目標設定（2 安定化）を 巡る攻防（1）

設定賛成の議論：

1. いかなる場合も、目標のより詳細な具体化は目標実現のためにプラス
2. 社会にとっての指標（Guiding post）
3. 予防原則に基づいた政策的判断によるリスク管理

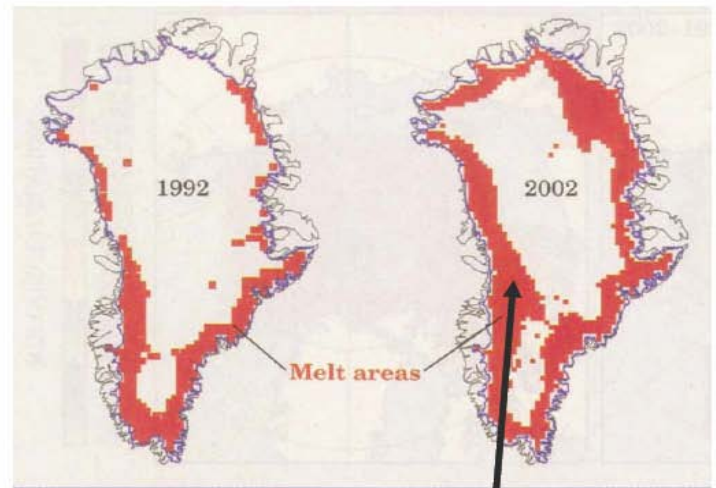
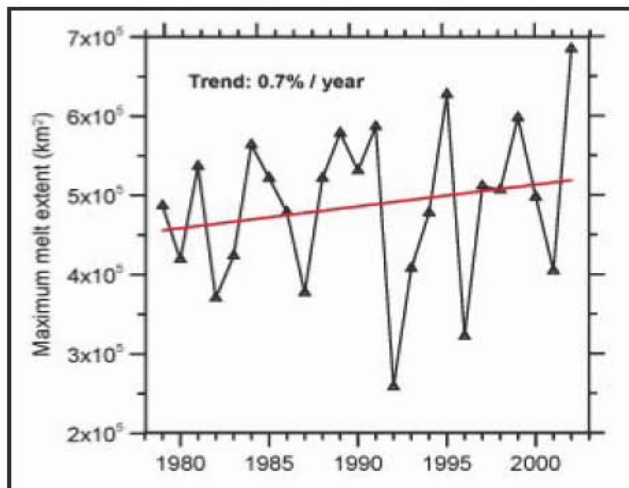


長期目標設定（2 安定化）を 巡る攻防（2）

設定反対の議論：

1. 破局的/非可逆的/非連続的なType IIの事象（グリーンランド/南極の氷床溶解や熱塩（海洋）循環停止）は無条件に対応が必要。しかし2 上昇でおこるようなType I事象は費用便益や価値判断の問題
2. Type II事象の「科学」は未発達/不確実（少なくとも現時点の「科学」は熱塩循環維持に2 安定化不要を示唆）

Increasing Melt Area on Greenland



- 2002 all-time record melt area
- Melting up to elevation of 2000 m
- 16% increase from 1979 to 2002

70 meters thinning in 5 years

Satellite-era record melt of 2002 was exceeded in 2005.

Source: Waleed Abdalati, Goddard Space Flight Center

Surface Melt on Greenland

Melt descending into a moulin, a vertical shaft carrying water to ice sheet base.



Source: Roger Braithwaite, University of Manchester (UK)

出所: James Hansen (2005) "Is there still time to avoid dangerous anthropogenic Interference with Global Climate?"

2. 温暖化問題での長期目標設定



長期目標設定（2 安定化）を 巡る攻防（3）

氷床融解に関する「科学」の不確実性

- ・ 局所的気温と氷床融解との関係、局所的気温と全球的気温との関係、融解のスピード

「科学」はジグザグに「発展/発達」するため、時間が経てば不確実性が縮まるとは限らない。結局、Type IとType IIの両方とも価値判断は必要！



長期目標設定（2 安定化）を 巡る攻防（4）

設定反対の議論は・・・

- ・ 「科学」に対する過大な期待（建前？）や責任押し付け
都合が良いように「科学」や「価値判断」を利用
- ・ 結局は「価値判断」をしない
「価値判断」しないのも、本当は「先送り/先延ばし」
という「価値判断」



長期目標設定（2 安定化）を 巡る攻防（5）

設定反対の議論（続き）：

3. 長期目標を設定すると、パイの分配問題（責任の押し付け合い）になってしまう
4. 交渉の柔軟性が著しく損なわれる（交渉の「果実」が何も得られない）

**それが現実なのは確か。しかし、やる、やらないの
二元論的/皮相的な議論しかしていないのも現実！**